

東北地域ものづくり企業基礎力向上セミナー

～ものづくり基礎講座（第65回技術セミナー）～

経済産業省東北経済産業局令和2年度「市場競争環境評価調査事業」（請負事業者：株式会社フィデア情報総研）

主催：東北経済産業局、東北大学金属材料研究所産学官広域連携センター

協力：日本金属学会東北支部、東北大学微細構造解析プラットフォーム

東北地域は、完成車メーカーの生産拠点化や、関連サプライヤーの進出により、自動車関連産業の集積が進んでいます。現在、「100年に一度の大変革期」と言われる自動車産業を取り巻く環境の変化は、これまでより一層スピードを増し、AIや自動化などのこれまでとは異なる新たな技術革新の波が押し寄せています。

今回の講座は、皆様から要望の多かった金属材料の接合をテーマに、日々取り組んでいらっしゃる講師をお招きしました。接合は金属系ものづくりでは重要技術と位置付けられていますが、特に自動車用材料において「マルチマテリアル」はキーワードであり、その根幹を支えるのが接合です。貴重な機会ですので、皆様奮ってご参加下さい。

【テーマ】自動車用金属材料の接合

【日時】令和2年11月17日(火) 14:00～16:40

【開催方法】オンライン開催 ※事前申込が必要。参加者には招待 URL を配布します。

【参加費】無料

【申込方法】申込専用ページ(<https://www.f-ric.co.jp/cgi-bin/tks-mkk/seminar.cgi>)よりお申込みください。

【注意事項】発表内容は著作権法の保護対象になりますので、セミナー動画の録画や録音、キャプチャー、再配布等は固く禁止させていただきます。申込専用ページで参加規約に同意の上、お申込みください。

14:00～14:05	主催者挨拶 東北経済産業局 地域経済部長 武藤 寿彦
14:05～14:30	「大学による金属系ものづくり企業の支援—産学官広域連携センターの活動紹介—」 東北大学金属材料研究所 教授 正橋 直哉
14:30～15:15	講演1：「Al/Fe 接合での新たな界面創製を目指して」 東北大学工学研究科 教授 佐藤 裕
15:15～16:00	講演2：「プレスによる異材接合技術（鍛接法）」 富山県産業技術研究開発センター ものづくり研究開発センター 主任研究員 山岸 英樹
(10分程度)	アンケート回答のお願い（株式会社フィデア情報総研）
16:10～16:30	講演3：「ものづくりにおける解析技術の役割と大学における装置共用の動き」 東北大学金属材料研究所 教授 今野 豊彦
(5分)	総合討議（質疑応答）
16:35～16:40	閉会挨拶 東北大学金属材料研究所 教授 正橋 直哉

司会：株式会社フィデア情報総研（請負事業者）

講師紹介



東北大学工学研究科
教授 佐藤 裕 氏

略歴：1997年東北大学大学院工学研究科博士前期課程修了後、東北大学工学研究科助手（2007年より助教に名称変更）として採用。2001年に博士（工学）の学位を取得。2003年から1年間、米国フリガムヤング大学博士研究員に就任。2008年東北大学工学研究科准教授、2017年より現職。

専門は溶接・接合材料学。摩擦攪拌接合などの固相接合技術や異種材料接合に対して材料学的にアプローチし、良好な接合界面を達成するための基礎研究と応用技術の開発に従事。



富山県産業技術研究開発センター
ものづくり研究開発センター
主任研究員 山岸 英樹 氏

略歴：1997年大阪大学基礎工学部機械工学科卒業後、(株)小松製作所に勤務。開発本部において建機用オートマチックトランスミッションの設計開発に従事。2003年に富山県入庁。工業技術センター中央研究所(現所)配属後は、機械・金属分野の技術指導、研究開発に従事。この間、2011年に東北大学大学院工学研究科材料システム工学専攻において博士後期課程を修了、博士(工学)学位取得。

専門分野は破損解析、超音波物性・非破壊評価及び接合。現在、特に異材接合を中心課題とし、ハイサイクル生産にも対応できる「鍛接法」の開発に注力。



東北大学金属材料研究所
教授 今野 豊彦 氏

略歴：1981年東北大学工学部原子核工学科修士取得後、新日本製鉄(株)中央研究本部にて方向性電子鋼板の研究開発に従事。1993年スタンフォード大学にて透過電子顕微鏡を用いた半導体-金属界面反応の研究で博士号取得。東北大金研助手、准教授、大阪府立大学教授を経て、2006年より現職。

合金の相安定性と構造解析を専門としつつ、大阪センターの立ち上げ等、産学連携活動に邁進。一関高専での自動車関連プロジェクトや宮城県公設試での企業人向けコースを6年以上にわたり担当。